

制作・問い合わせ先

# 埼玉県高校図書館フェスティバル 実行委員会

ホームページ ▶ <https://shelf2011.net/>  
Twitter ▶ [https://twitter.com/shelf\\_20110219](https://twitter.com/shelf_20110219)  
Gmail ▶ [saitama.ichioshi@gmail.com](mailto:saitama.ichioshi@gmail.com)

## 大切な本の補強や補修ができる 道具と材料のセットができました!

公共図書館で 長年愛用されている 商品です!



- このセットがあれば /
- 本をキズや汚れ、紫外線から守れる!
- 破れたページをキレイに補修できる!
- 背や小口部分、のどの補強・補修ができる!

商品の詳細はこちら

本を保護する用品いろいろ!

ブックカバー・ジェピー 楽天市場店

<https://www.rakuten.co.jp/bookcover/>

制作協力(パンフレット印刷): 社会福祉法人 埼玉福祉会

埼玉県の高校図書館司書が選んだ

# イチオン本

## 2020

2021年2月発表! Take Free!

これがイチオン本なのだ!

埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオン本

10周年記念・公式キャラクター

イチ王子

みんなにびびったりの本をオススX  
できる立派な王様になるのが夢。  
10歳の誕生日に見たふしぎな夢  
のなかでサタマケのゴウゴウ  
シヨたちと友だちになった。  
いろいろな本との出会いをイチオンパワ-に変えながら、  
本の楽しさを伝えているぞ!

2020年版は、2019年11月~2020年10月までに出版された本を  
対象に、121名より195タイトルの応募がありました。  
※2★★・3★★をつけて、おすすめ度の高い順に10作品を選びました。  
応募時に投票者がついた順位の高い順に、おすすめ度(ベスト1★★★  
掲載されています。ぜひご覧ください。

推薦した司書のコメントや10位以降の作品の詳細はホームページにも  
掲載されています。

「これはホームページで確認ください」

イチオン本

- ### まだまだあります! イチオン本
- 惜しくもベスト10には入りませんでした。司書イチオシの本たちです。
- 11位 少年と犬(馳星周/文藝春秋)**  
◆最後は涙しました。生徒にぜひ勧めたい一冊です。  
◆心が温かくなるお話です。きっと涙なしでは読めないと思います。  
◆18歳で家を出るまで、実家で犬と暮らしていたので共感できる部分が多かったです。犬と人との絆を感じられる素敵な物語です。
- 12位 イマジン?(有川ひろ/幻冬舎)**  
◆有川ひろさんの集大成。今までの作品を凝縮させて、昇華させたような作品。行間には有川さん特有の角砂糖がたっぷり詰め込まれていて、とてもキュンキュンした。テレビに映る世界はキラキラして見えるけれど、それを作り上げるまでには、たくさんの人の苦悩と努力がある。昨今問題となっている SNS の誹謗中傷とつながる部分もあり、番組の作り手の想いが伝わった。あくまで本作は小説というフィクションだが、著者の作品映像化への原作者としての想いや製作者の裏側を知ることができて興味深かった。  
◆ひょんなことからかねてからの夢であった映像業界に足を踏み入れた青年の全力お仕事小説。がむしゃらに走った先に未来はある!  
◆名前表記は変わりましたが、痛快さと爽やかさ、そしてぎゅっと胸を鷲掴みにされるような読書体験は健在です。◆有川さんの作品を知っているとも知らなくても、楽しく読めて仕事や夢についてかんがえることができます。
- 13位 ザリガニの鳴くところ(ディーリア・オーエンズ/早川書房)**  
◆女の子として生きる辛さに共感し、強く生きる勇気もらえる一冊。沼地の描写も美しい。◆家族にネグレクトされて1人湿地で生きる少女カイア。彼女に近づく金持ちの青年チェイスの死は、果たして事故?それとも殺人? 1人の女性の成長物語かつ骨太のミステリーでありながら、ノースカロライナの自然なくしては成立しない「生物小説」でもあります。衝撃的結末を迎えると共にタイトルの意味が深く心に染み入るでしょう。  
◆自然の摂理という普遍的なテーマにミステリが絡んだ超一級エンタメ。ラストのサプライズまで興奮させられっぱなしでした。
- 14位 愛されなくても別に(武田綾乃/講談社)**  
◆別に愛されなくても別に、幸せじゃなかったって生きててもいいんだよ。一人で淡々と生き続ける19歳の陽彩の言葉が胸に突き刺さる。  
◆子ども側から見る毒親との物語。描かれている内容は非常にリアルだが、読みやすい文体がフィクションとして成立させている。10代の子たちには是非読んで欲しい。◆「愛されなくても別に」。タイトルにもなっているこの言葉の裏に隠れた、登場人物たちの過去に胸がぎゅっと締め付けられます。
- 14位 52 ヘルツのクジラたち(町田そのこ/中央公論新社)**  
◆今年は文芸書の当たり年でしたが、中でもこの作品がイチオンです。  
◆登場人物たちが直面する出来事は、あまりにも理不尽で苦しいものですが、生徒たちの中にも同じような経験をしてきた子達がいるのかもしれないとも思いました。生きることとはつらいことかもしれないけど、あなたを愛し、助けてくれる人は絶対にいるよ、と言葉をかけながら手渡したくなる本です。
- 16位 ハリネズミは月を見上げる(あさのあつこ/新潮社)**  
◆人の顔色をうかがいながら、本当の自分に蓋をして生きてきた女子高生が主人公の物語。自分自身や大切なものを守るためには、戦う覚悟を決めることが必要だと気がさせてくれる一冊です。  
◆車内の痴漢行為に声を上げるのは、勇気のいることです。言えない女子高生、言える女子高生..そんなふたりが出会い、ふたりが変わっていく姿が輝かしい。◆人との出会いが自分を大きく変えていくことがあること、自分を責めること、そんな大切なことを教えてくれる物語です。
- 17位 若い読者に贈る美しい生物学講義(更科功/ダイヤモンド社)**  
◆ユーモアたっぷりに、生物のおもしろさを伝えてくれる本。
- 17位 あつかったらぬげばいい(ヨシタケシンスケ/白泉社)**  
◆ページをめくるたびに心がほっこりします。イライラがそこかしこにはびこるコロナ禍にびびったりの本だと思います。◆こんな考え方もいいのよ、と心が軽くなる一冊。他人に原因を求めたり、文句をよく言う人の机にそのまま置いてみましょう。◆子どもから大人まで楽しめる心を緩める絵本。コロナの時代に余裕のない心も本を読むと気持ちが解きほぐされるようになる。
- 19位 部活魂! この文化部がすごい(読売中高生新聞編集室/筑摩書房)**  
◆全国には様々な文化部が存在していて、運動部顔負けの努力をしている姿に感動しました。
- ◆バロン部や水族館部などの「聞いたことない!」部活から、吹奏楽部や演劇部まで、等身大の10代の「一生懸命」が生み出すドラマが詰まっています。
- 19位 病院というハンテコな場所が教えてくれたこと。2(仲本りさ/いろは出版)**  
◆どうすれば人を元気づけられるのか、どんな仕事に就いても、それを考えて落ち込んだり喜んだりするものだと思います。
- 19位 猫を棄てる 父親について語るとき(村上春樹/文藝春秋)**  
◆地味ですが心に沁みます。  
◆疎遠な父親との関係が書くことによって昇華されていくのだろうと思う。
- 19位 大人は知らない今ない仕事図鑑 100(上村彰子ほか/講談社)**  
◆これからきっと私の知らない新しい仕事が増えてくると未来に向けて明るくなる本。  
◆進路コーナーにこういう本を置くと、アタマがやわらかくなると思う。

- 19位 二百十番館(加納朋子/文藝春秋)**  
◆いつ誰に降りかかってくるかわからない病気やひきこもりに、対処できる力を持ちたい、と思える小説です。◆親に見放された二つの主人公が、ネット仲間と離島暮らしを始め、地元の人たちとの関わりによって成長していく物語。人と関わって生きていく大切さを、あらためて考えさせる1冊。
- 19位 ほんとうのリーダーのみつかりかた(梨木香歩/岩波書店)**  
◆同調圧力が強い社会で、情報があふれる時代だからこそ、「自分の考えを持つ」ということがどれだけ大切なことを気づかせてくれる本です。  
◆今の時代を自分の足で歩いていくために、大切なことが書かれています。政権批判の本かな?と思ったら、もっとずっと深い内容でした。
- 19位 イラストで学ぶ地理と地球科学の図鑑(柴山元彦ほか/創元社)**  
◆別々に扱われることが多い人文地理と自然地理が1冊にまとまっています。イラストも豊富で「地理学」の基礎が学べます。防災学習にも使えます。  
◆地理と地球科学、もしくは人文地理学と自然地理学は別の分野だと捉えられがちですが、これを一冊に統合した本が出版されたのはとても画期的だと感じました。地理学の全体像がつかめる内容になっていると思います。
- 19位 「自分だけの答え」が見つかる 13歳からのアート思考(末永幸歩/ダイヤモンド社)**  
◆近寄りたイメージだったアートが「面白い」を通り越して「自分ごと」になる。学校では教わらない大事なことが、アートには詰まっているのですね。◆教養の一環として注目されているアート。ビジネス書などが多く出版される中、本書はメインターゲットを中学生にしており、まるで本当に授業を受けているような気分になる。しかも、その授業はお堅いものではなく、想像力・発想力を豊かにするような楽しい授業。アートって本来はこんなに自由な考え方でいいんだ、と思わせる。実際に読者が絵を鑑賞しながら、本書は進んでいく。次第に、もっと色々なアートを見たいと思うようになり、美術館に行きたくなった。
- 19位 「いいね!」の魔力 認められたい心理のヒミツ(ゆうきゆう/海竜社)**  
◆生徒たちの日常に溶け込んでいっているSNS。たくさんの人と繋がっているはずなのに、孤独だと感じてしまうのはどうして? 「いいね!」をもらって認められた気持ちに歯止めがかからない!? ..SNSで手軽に満たされるようになった(と見える)承認欲求について、精神科医の著者が易しい言葉で解説します。大人(そして自分)も、我が身を振り返らせられる内容です。  
◆人なら誰でも持つ「承認欲求」。本来は健全なこの欲求も、SNSの普及で暴走してしまうかも。承認欲求とよりよい SNSとの向き合い方を心理学者の視点で優しく教えてくれる。
- 28位 不思議なお菓子レシピ サイエンススイーツ(太田さちか/マイルスタツ)**  
◆コロナ禍でなかなか思うように外出や遠出ができない中、家で充実した時間を過ごす手助けになる1冊。◆ポイント解説で、科学が身近なものと実感できる。しかも、作ればおいしく食べられる(はず)。
- 28位 非進学校出身東大生が高校時代にしていたこと(太田あや/小学館)**  
◆埼玉県の高校出身の子が出ています。正しい努力を頑張ったなあ〜。
- 28位 戦争は女の顔をしていない 1(川崎けい/ KADOKAWA)**  
◆ノーベル文学賞を受けた重たい作品をわかりやすい漫画で表現。戦争のつらさがリアルに伝わる。  
◆ノーベル文学賞受賞者による独り戦に関わった女性たちの証言集を、コミカライズした作品です。WW2の中でも太平洋戦争とは違って授業等ではあまり触れられませんが、是非こうした作品を通して当時を生きた人が何を経験したのかを知ってほしいと思います。
- 28位 推し、燃ゆ(宇佐見りん/河出書房新社)**  
◆「推し」を推し続けることがあたらしい背骨だった。「推し」が炎上して消えたと、背骨が抜けたあたしは立っていられるのか。
- 28位 持続可能な魂の利用(松田青子/中央公論新社)**  
◆「付きのおじさん」がどのような人々を表しているのか、言語化できなくてもなんとなく感じられると思います。そして身近にいることも感じていると思います。◆「日本は男女平等だ」となぜか疑わなかった若い頃にこの本に出会っていたら、もっと早くに社会の見方が変わっただろう。
- 28位 家族だから愛したんじゃない、愛したのが家族だった(岸田奈美/小学館)**  
◆読んでいてくすくす笑えたり、しみじみしたり、すこし肩の力がいったような表現も多いですが、読むと元気が出るエッセイだと思います。  
◆読み終わった後、上手く言葉にできないけれど大切なことに気づかされた気がしました。
- 28位 一人称単数(村上春樹/文藝春秋)**  
◆貸出の多かった中で、小説好きな教諭のイチオンでした。  
◆村上春樹が好きなので、初期の作風っぽいところが良かったです。
- 28位 ほくは性別モラトリアム(からたちはじめ/幻冬舎)**  
◆自分の性別に違和感を持つ著者の、悩みの過程を記録した実録漫画。なんとなく表紙やタイトルに着いたら、ぜひ読んでみてほしいです。  
◆女性の体には違和感、でも手術してまで性別を変えたくない、彼女も欲しくない。では、何者になりたいの? 著者のそんな揺れ動く気持ちが赤裸々につづられています。性別は虹色。LGBTQのどこかに落としまわなくてもいいと気がさせてくれます。
- 28位 教えて! 栄養素男子(女子栄養大学栄養クリニック/日本図書センター)**  
◆擬人化されたイケメン男子が栄養素を解説!

ここで紹介しきれなかったイチオン本は、埼玉県高校図書館フェスティバルホームページに掲載しています。詳しくは<https://shelf2011.net/>をご覧ください。

伊吹有喜	雲を新へ	1
池上彰 監修 宇野浩二	なぜ僕らは働くのか	2
寺地はるな 集英社	水を縫う	3
伊坂幸太郎 集英社	逆ソクラテス	4
上谷くら、岸本学 著 Cahlo イラスト KADOKAWA	おとめ六法	5
藤井あゆみ 講談社	晴れ、時々くらけを呼ぶ	6
風見ゆう ポラリス	わたしの美しい庭	7
左石社編集部 編 左右社	仕事本	8
10代から知っておきたい 森山至貴	あなたを閉じこめる「するい言葉」	9
二見美穂 水鏡社	夜明けのすべて	10

埼玉県の高校図書館司書が選んだ

2020